



No. 14  
近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
平成28年度第5回

一般国道2号  
こうべにし  
神戸西バイパス

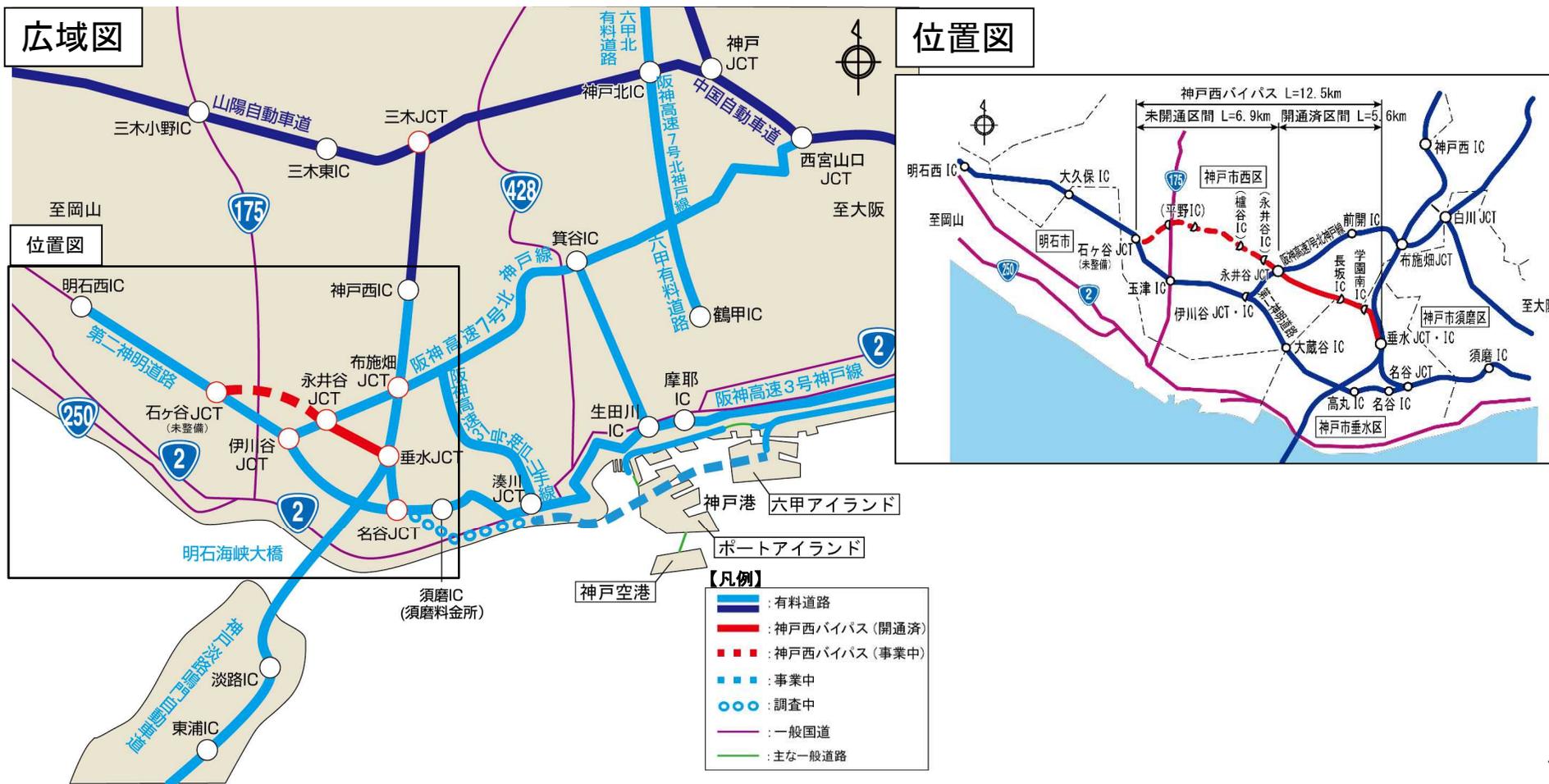
【再評価】

平成29年1月  
近畿地方整備局

# 事業全体図

## 一般国道2号 神戸西バイパス

- 神戸西バイパスは、神戸市垂水区から明石市を結ぶ延長約12.5kmの地域高規格道路であり、交通混雑が著しい神戸西部地域において、第二神明道路のバイパスとして計画された道路。
- 第二神明道路と東西の広域交通を分担し、日常生活や経済活動を支える重要な路線であり、神戸淡路鳴門自動車道へのアクセス道路としても機能。



# 1. 事業の概要

## 一般国道2号 神戸西バイパス

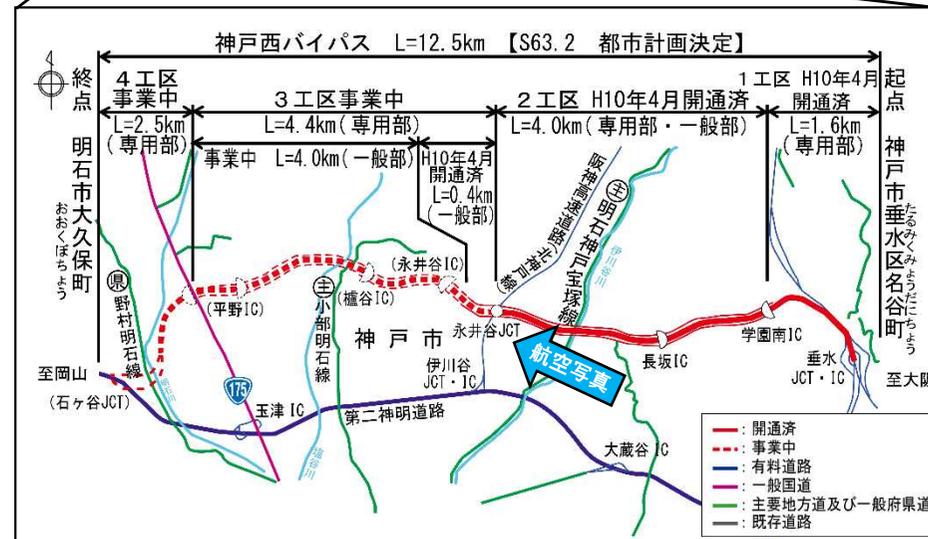
### 事業の目的

- 交通混雑の緩和
- 交通安全の確保
- 物流の効率化支援

### 事業の概要・進捗状況

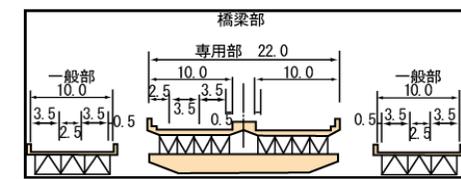
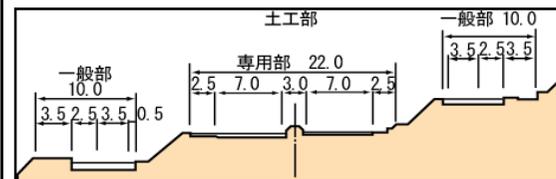
区 間	(起)兵庫県神戸市垂水区名谷町 (終)兵庫県明石市大久保町
道路延長	専用部: 12.5km 一般部: 8.4km
構造規格	専用部: 第1種第3級 一般部: 第3種第2級
設計速度	専用部: 80km/h 一般部: 60km/h
車線数	専用部: 4車線 一般部: 2車線
標準幅員	22m~42m(うち専用部22m)
計画交通量	専用部: 51,900台/日 一般部: 25,900台/日
全体事業費	1,900億円
事業化	昭和63年度
都市計画決定	昭和63年2月
用地着手	平成元年度
工事着手	平成3年度
供用延長	専用部: 5.6km 一般部: 4.4km
事業進捗率	約73%(平成27年度末現在)
用地取得率	約87%(面積ベース、同上)

### 位置図



### 標準横断面図

【単位:m】



## 2. 再評価の視点

一般国道2号 神戸西バイパス

再評価の視点	現在の状況	備考
事業の必要性に関する視点		
1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化	前回再評価時点(H25年12月)から大きな変化なし	
2) 事業の整備効果	前回再評価時点(H25年12月)から大きな変化なし	
3) 事業の投資効果	社会情勢等に大きな変化がないため算出を省略	前回 全体 B/C 1.2 残事業 B/C 4.7
4) 事業費の変化	前回再評価時点(H25年12月)から変化なし	
5) 地域における計画等	前回再評価時点(H25年12月)から大きな変化なし	
事業の進捗の見込みの視点	進捗率(事業費) 73% 用地取得率(面積)87%	
コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点	新技術、新工法の採用など引き続き検討	

# 3. 事業進捗の見込みの視点

一般国道2号 神戸西バイパス

## 1) 事業の進捗状況

### 平成28年度事業内容

- ・現在、用地取得、調査・設計を実施しています

### 進捗状況

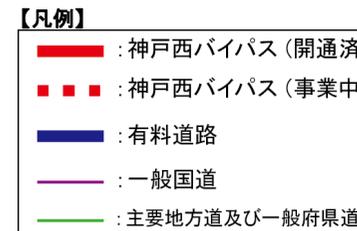
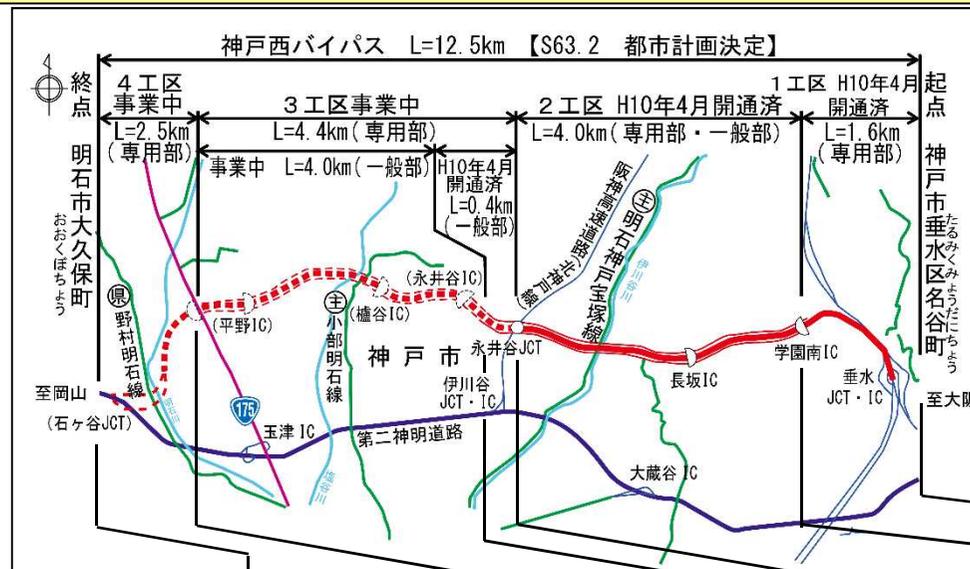
- ・平成27年度末までの進捗は、用地進捗率約87%（面積ベース）、事業進捗率約73%（事業費ベース）です。

### 事業進捗上の課題

- ・現在、近畿圏の新しい料金体系について検討されており、その結果も踏まえて専用部の事業主体を固める必要あり。

## 2) 今後の事業スケジュール等

- ・引き続き事業を推進し、早期の開通を目指します



※用地進捗率は、平成27年度末の面積ベース

区間		未開通区間		開通済区間	
用地		約87%			
		用地推進	用地推進	用地取得済	
工事	専用部	調査・設計推進	調査・設計推進	—	H10.4.5開通(4車線・専用部)
	一般部			H10.4.5開通(2車線・一般部)	

## 4. 関係自治体の意見

一般国道2号 神戸西バイパス

### ■神戸市長

平成29年1月13日 神建道計第972号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

一般国道2号神戸西バイパスは、播磨から神戸・大阪までの交通を円滑に繋ぎ、兵庫県臨海部の次世代産業、製造企業拠点の集積をさらに加速させる重要な事業です。

また、側道（一般部）整備による救急活動や都心へのアクセスの向上など、市民生活を支える上でも必要な事業です。

これらの整備効果を十分に発揮するためには、事業を継続し早期に完成させることが必要と考えます。

なお、早期完成のためには、第二神明道路の料金見直しの中で神戸西バイパスの整備財源を確保することが必要と考えます。

## ◆沿線市町村の期待

### ■神戸市長

(期待する効果)

一般国道2号神戸西バイパスは、播磨臨海地域から神戸・大阪までを東西に繋ぐ幹線道路であり、兵庫県臨海部への大きなストック効果が期待される他、神戸市西区や明石市の市民生活の向上や、災害時の緊急輸送道路としての役割が期待されます。

#### ①経済活性化

第二神明道路のバイパスとなるこの事業が整備されることで、播磨臨海地域から神戸・大阪への人・モノの流れが確保され、兵庫県臨海部における次世代産業や製造企業拠点の集積をさらに加速させることが期待されます。

#### ②市民生活の向上

救急医療の定時性、神戸港・空港へのアクセス性などが確保され、神戸市西区や明石市の地域活性化に寄与します。

#### ③防災

神戸西バイパスは緊急輸送道路に位置付けられており、これを整備することによって、災害時の避難・復興活動を支えるネットワーク強化を図ります。

(取り組み)

神戸西バイパスは、大阪湾岸道路西伸部とともに「神戸2020ビジョン」で若者に魅力的なしごとづくりを支える広域圏幹線道路ネットワークと示されており、神戸市としても事業促進に向けて全力で取り組んでいるところです。大阪湾岸道路西伸部と一体的に整備することで、その効果をより発揮できることから、有料道路事業の導入が必要と考えており、その導入に際し必要な調整を行っています。

なお、この整備効果をより発揮させるため、神戸西バイパスとも交差する小部明石線(明石木見線)の拡幅・歩道整備や、国道175号神出バイパスに連絡する岩岡神出線の歩道整備等を推進します。

神戸西バイパスは、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、早期の開通を目指すことが適切である。

**事業継続**

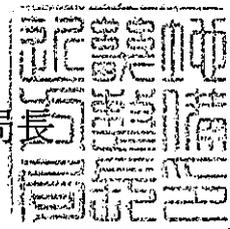


国近整企画175号

平成28年12月22日

神戸市長 殿

近畿地方整備局長



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針  
(原案)の作成に係る意見照会について(依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対する御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成29年1月26日(木)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成29年1月18日(水)までに、別紙について貴職の御意見を承りたく依頼いたします。

※御意見の送付・問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

FAX 06-6942-7463

(再評価)

## 【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道2号神戸西バイパス	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

神建道計第 972 号  
平成 29 年 1 月 13 日

近畿地方整備局長  
池田 豊人 殿

神戸市長 久元 喜



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針  
(原案) の作成に係る意見照会について (回答)

平素より神戸市政へのご理解・ご協力に対しお礼申し上げます。  
平成 28 年 12 月 22 日付国近整企画 175 号で依頼の標記について、下記のとおり回答します。

記

1. 一般国道 2 号神戸西バイパスについての意見

一般国道 2 号神戸西バイパスは、播磨から神戸・大阪までの交通を円滑に繋ぎ、兵庫県臨海部の次世代産業、製造企業拠点の集積をさらに加速させる重要な事業です。

また、側道 (一般部) 整備による救急活動や都心へのアクセスの向上など、市民生活を支える上でも必要な事業です。

これらの整備効果を十分に発揮するためには、事業を継続し早期に完成させることが必要と考えます。

なお、早期完成のためには、第二神明道路の料金見直しの中で神戸西バイパスの整備財源を確保することが必要と考えます。

以上

担当：神戸市建設局道路部計画課

電話 078-322-5396

FAX 078-391-7772